

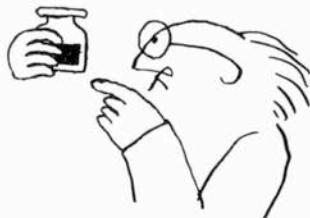
プロフェッサーPの研究室

人体生理学の研究 その1

岡田 淳

この中へ?

そろじゃ
入るのじゃ



どうやら我々は
インクのごときもので
構成されておるらしい

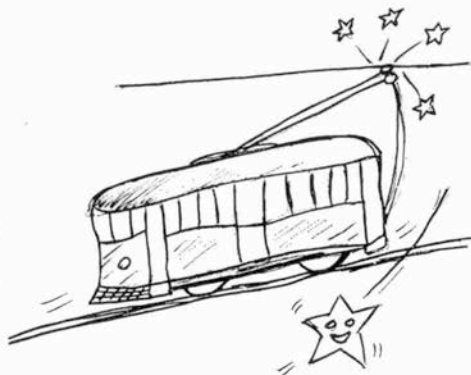


— 125 —

OLD KOBE 9

市電の幻想

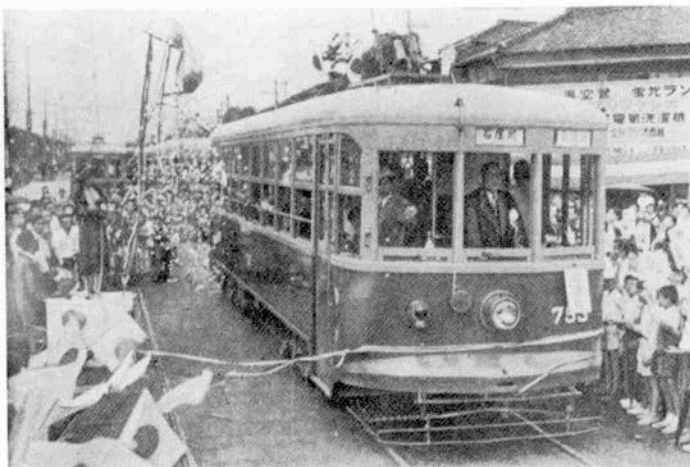
あおば しげる 〈えと文〉
今はウィーンなどに残るポールの
“火花”の思い出



ポールと架線の接触で散る“火花”

「日本一の神戸市電」ということばを誇らしげに語った少年時代の思い出を、今でも私はなつかしさをもって胸に描くことができる。いや、

私だけではなく、四十歳代以上の神戸市民ならほとんどの人が同じような思い出を持っているはずである。同時にこのことばと共に私のまぶたには、昭和初期から市民の前に登場した、あのスマートなグリーン色のボギー車の姿が、昨日のことのようにありありと浮かんでくる。電車の構造的なことについての科学的な知識の持ち合わせは乏しいが、ボギー車が大正九年に登場した時（ただし、従来の実用一本の褐色からツートンカラーの美しいみどり色に塗り変えられたのは昭和八年で一説には、須磨海岸の松と六甲山の緑をとり入れたものといわれている）



最後の軌道延長になった石屋川線の開通式（昭和28年）
『神戸市電物語』のじぎく文庫より

る）、当時の市民は「この市電こそ日本一のできればえの新車で、東京にも大阪にもないしゃれた乗り物だ」と胸を張ってほればれと街を走る車体を眺め、愛乗したものである。

私が中学二、三年生の頃だが、大阪に住む従兄（高商生）が家へ来ると、よく大阪と神戸の自慢話に花を咲かせたものだが、彼がしきりに人口の多いことや大商都としての大阪の強みを挙げて私をやり込めようとする、私は日本一の貿易港で海と山の自然美に恵まれた神戸のよさを強調して対抗したものだ。また、従兄が大阪のタクシーの数の多さを口にすると、私はここぞとばかり神戸の市電のモダンでスマートなことを必死でまくしたてたものだった。事実当時から戦後へかけて神戸市電がスタイル、性能などの構造上の諸点からみて他都市の市電

に比べてよほどすぐれていたことは、全国的にも定評があったところだった。神戸の街が美しい姿の市電を走らすのに適したモダンでエキゾチックな（外人の居住者が多いことなど）街であったことが、こうした市電誕生の大きな理由であったことはもちろんである。

市電誕生の歴史からみると、神戸市電は全国で第一位の京都（明治二八年）と第二位の大阪（同三六年）について第三位だったが、技術、車両は他都市に比べて抜群の性能であり、「A型車」と呼ばれる輸入車両（五三両輸入）は木製ではあったが、豪華な舶来品だった。最初の路線はいまの葺合区春日野から南本町―滝道経由、兵庫停車場までわずか五・八五七キロで、架線は中央柱式、床は約一五〇ミリの浅い砂利、軌道の中は碎石を詰めた、すべて粗末なものであった。そして今では想像もつかない、「がらん、がらん……、がらん」と鳴るそれはにぎやかな警笛を鳴らしながら走ったものである。時速は二〇キロ。だが、当時とすれば驚異的な新鋭車であり、以後の「古きよき市電」への花やかな、栄光への晴れ姿であった。なお、コースは四区に分かれていて、

通行税共一区三銭の乗車賃で、運転手の日給は三五銭だった。つづいて大正三年には布引線（三宮町―熊内橋通り）大正九年には工費八九四万円で第二期線工事を完成（和田岬線―中之島―今出在家二丁目を最後に）、同一年には山手、上沢線、遅れて昭和一二年に須磨線全部と板宿線が開通して神戸の市電網は完成した。運賃は六銭となっていた。こうして市電は大衆の足の役目を果たしながら、昭和四六年三月一日に「さよなら電車」が走り、全線廃止となるまで続いたわけだが、長い年月の間の市電の姿を回想してみる時郷愁も手伝ってか、私の目には市電のよい部分、特に市電にまつわる詩的で幻想的な思い出がいくつも浮かんでくる。昭和一〇年に一時的に作られたロマンスカーに乗って、滝道から山手、上沢、東尻池線を通って須磨終点まで行く約一時間を利用してリルケ詩集などに読みふけた個人的体験も詩的な

思い出の一つだし、湊川トンネルをくぐる時にわずか十秒間ほどだが車内灯がパツとつけられるが、少年の心にとでもうれしかったものだ。

だが、筆者にとっていちばん詩的で幻想的な思い出は、夜の町をイルミネーションで飾って通った花電車的美景よりも何よりも、夜間や薄暮に市電が走りながら時々ポールと架線の接触のぐあいだ鋭い音と共に発する、あの藍色の光りのえもいわれぬ瞬間の美しさである。この情景を作家の稲垣足穂は「寶石を見詰める女」という短篇の中で、「神戸の山ノ手における初夏の晩などに、パシツとスパークして、近くのプラタナスやレンゲ塀が真青に照らし出される一瞬、なにか不吉な危機感と共に、私は摩訶不思議の啓示がそこによりみ取られるように覚えます」といっそう幻想的、神秘的に表現しているが、かつて私は夜の町を歩きながら、この青白いスパークの火花にたびたび驚かされたり、ふと詩的な思いにとらわれたりしたものだ。

これと同じことを最近NHKの吉田直哉という人がある本に書いている『幻の電車・夢の町』という随想の中で読んで、私は昔のこの情景を久し振りでなまなましく思い出したものだ。同氏のウィーンにおける旅の印象記の一節だが、こう書いている――「カフカの小説（審判）などで有名なプラハの夜の町を歩きながら、私はこの中世そのもののような暗がりのふしぎさを身をもって味わっていた。そんなことを考えているとき、突然市電が来た。輝くばかりの光をありつけたけの窓からふりまいて、いかにも幸せそうにそれは近づき、宝石のような青い火花を散らしながら、みるみる遠のいて行った。この火花はもはや今日の神戸では見られない。それが見られるウィーンのような古都に私自身もぜひ出掛けてみたいと思う。感傷的と人から笑われても、幻想的な市電の思い出は、今後とも時にふれて私のまぶたをよぎり、そのつど少年時代の夢をみさせてくれることだろう（五・二記）

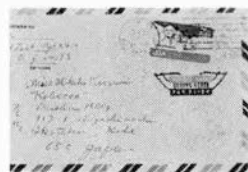
後記 「神戸市電物語」「神戸史話」などを参照させてもらいました

Air Mail from New York (22)

うわの空

くるま文化 ①

竹田 洋太郎 (在ニューヨーク)



日本からニューヨークのケネディ空港に夕方到着して市内へ向かう経験を持たれた方は多いと思う。

その時、夕日を背にして浮ぶマンハッタンのシルエツトは、なかなか感動的なものにちがいないが、同時に、それが午後五時すぎだと、都心から郊外に向かうハイウェイの三車線がギッシリ車で埋まっているのに気がつかれることだろう。

これはニュージャージー側も同様で、緑の林や芝生を両側に沿わせたガーデンステート・パークウェイなど、昼間走ると、全く車のかけが少なく、なんのために片道四車線もあるのかと驚くが、これが通勤時間となると、一方の車線は完全に車に占領され、しかもノロノロ運転となる。

車のサイズは、日本製はじめ小型車がふえたというものの、まだまだ日本という大型車が圧倒的に多く、それに乗っているのは大抵一人だ。ニューヨークは、住宅地域と都心を結ぶ地下鉄、郊外鉄道、バスが全米でいまのところ一番多いにかかわらず、また、マンハッタン島と外側をつなぐ橋やトンネルを管理する港湾公団は、島への車の乗り入れに、乗り合わせ(カープール)を三人以上すると道路料金を大幅に割引きするにもかかわらず、である。ガソリンのムダ、時間のムダを考えると、ここでも一抹の空しさを感じるのだが、同時に米国人と自動車の関係は「ただならぬもの」に思えてくるのだ。

米国人にとって自動車は恋人だ、とか、デイトの相手だ、とかいったのはマクルーハンというカナダのエライ

え・たかはし もう

先生だった。いや、それ以上のものではないか、というのが私の印象だ。二人の未知の人が、なにかの会合で同席したとする。その時、日本人や英国人なら、共通の話題はお天気から始まるだろう。気候の不順な、天気の変わりやすいニューヨークでも同様だが、その話題はすぐ自動車に移行する。そうなる中年であれ、青年であれ車の話はとまらない。「恋人以上の存在」というのは、人は恋人のことを、こんなに熱心に語らないからだ。

もう一つ、ニューヨークにはじめて着いた日本人が例外なしに驚くこと。それは多くの車がヘコミだらけ、汚れっぱなしで、見られたものじゃないこと。この理由を尋ねられると、前からニューヨークにいる日本人は、先輩顔をして「日本じゃ車は財産みたいに考えてピカピカに磨き立てていますが、アメリカ人にとっては、車はゲタみたいなもの。それにヘコミを直してもらうには時間と金がかかるので、通勤にさしつかえなし」と説明する。それで一応はみなさん納得される。

私はそれだけでは納得できなかった。

世界は飛行機で代表される「現代」にあると、奇妙な理屈をのべてみたが、日常生活の段階では「自動車の時代」であることは、だれもが認められるだろう。日本でも「モータリゼーション」という言葉が十年も前から、したり顔で使われている。さほどに自動車が日常生活の中で重要になったとしたら、それは「自動車文化」といえるわけだが、世界共通のこの文化のおかげで、トヨタもダットサンもマツダもホンダも、すでにヨソモノのよ



筆者

うな顔をせず、アメリカのハイウエーや裏街を走っている。

だが、それが「文化」といえるほどに生活の一部になったら、必ずそこに、国や民族や人種や宗教が大きな影を自動車の上にさしかける。

反対側からいうと、米国の自動車文化は米国文化であり、日本のモータリゼーションは、やはり日本文化の一つの姿だ、ということだ。もちろん、欧州大陸の自動車文化はそれぞれの国の性格をはっきり示すし、イギリスはイギリスで、ここでなければ生まれない自動車文化を生んでいる。ロールスロイスやアストンマーチンを考えれば十分だろう。これもイギリスの経済的な行き詰まり

くるまは西へ……



そのままに、倒産に瀕したなどというのはいい過ぎだろう。

理屈はあとで改めて考えてみるとして、米国での自動車は、日本人が説明するように「ゲタ」や草履ではなくて、馬もしくは馬車である。それなら日本の自動車はなにか。これは「駕籠」である。

車に乗ることも馬に乗ることも英語では「ライド」であり、車を運転することも、馬車を走らせることも「ドライブ」だ。しかし日本語には自動車を「運転」するという、造語または訳語をしなければならなかったぐらい適当な言葉はなかった。「愛車を駆って」などというが自然に口に出る言葉でなく、わざとらしい。近ごろ、車を「ころがす」とよく若い人がいう。いかにも感じが出ているが、小型の国産車やフォルクスワーゲンならいえることで、キャデラックやリンカーンについていえる言葉ではない。

なるほど自動車は米国では馬車、それも西部開拓の主役だったホロ馬車だとだれでも考えつくのは、バカでかい「ステーションワゴン」——文字通り駅馬車だが——を見るだけでいい。わざと木目をまねた塗装のパネル。屋根にも荷物を積めるクロームの荷台。それだけでない。父がハンドルをとり、母がその右にとつかとすわり、子供たち（時には五人、六人）が後の座席におし込まれている。日曜のピクニックとなれば、牛肉、野菜、カン入りのおびただしい清涼飲料水（英語のソフトドリンクはこういうわねばならない）を入れたスチロールの氷箱。パーベキュー用の焔炉（これは一般的なのが「ハイバーチ」つまり日本の火鉢から来たことば）に豆炭（日本では忘れかけられた豆炭が米国西部には輸出されている）それになによりも、一家を乗せてドライブするオヤジさんの責任感に満ちた厳粛な表情を見ればうなずかれるだろう。

車は西へ……である。



淀長立見席 41

私の学びの窓

淀川 長治〈映画評論家〉

神戸三申（長田高校）が今年で五〇周年を迎える。それでそれを記念して九月六日に大倉山の文化ホールで何か話せと電話がかかってきた。早や五〇年。私は三回生。三申生活は、ついこのあいだとさえ思えるのに。

その三年のころ同級生にチャールストン・ダンスの実に巧い中村君がいた。あのころは校舎に入る時にはドタバ靴を白い運動靴にぬぎかえされた。その白いで踊るから、彼の両足の動くのが非常に上手に目にしみた。

大正十五年（一九二六）の夏に新開地のキネマ倶楽部でストロハイム監督の「グリード」が封切られた。その初日は超満員であった。第一回の上映が終り客が外へあふれ出る中に私はあの中村君の顔を見つけた。彼の顔は興奮で上気していた。この「グリード」（一九二四）はストロハイムが上映時間九時間三〇分にまとめたものをM・G・Mが二時間三〇分にカットして上映にこぎつけたものだが、それでも圧倒された。去年、私はニューヨークで、この「グリード」全巻を三四八枚の場面写真と五二枚のスナップ写真を加えてハーマン・G・ワインバーグがノー・カット「グリード」として一冊の写真集本としてまとめたのを買ってきた。一九七三年のニューヨークのダトソ社発刊の大型のものである。

その「グリード」を私は新開地で十七歳の時に見た。グリフィス監督の「散り行く花」は朝日館で十三歳の時に見た。大正十一年の封切であった。この「散りゆく花」



錦座で上映された「ウーマン」の一場面から

は見ていると涙があふれるだけでなく、自分の口から泣き声が出そうになって唇を噛みしめたことを思い出す。

モリス・ターナー監督の「ウーマン」を見たのは大正八年の錦座であった。私の思えば十歳の時である。これで私は完全に映画のとりことなった。この錦座でチャップリンの「兵隊さん」（担之館）も見た。

キネマ倶楽部で見た大正活映の日本映画「アマチュア

倶楽部」葛飾砂子^{カワシロコ}も、今もそのファースト・シーンからラストまでがいえるくらい記憶している。私の十一歳の時だった。

「黄金狂時代」「ステラ・ダラス」そして溝口健二の「狂恋の女師匠」を見たのは十七歳。これも鮮やかに場面を記憶している。

これはなにも、私が自分の記憶を自慢しているのではない。この少年期に私はこれらの一流作品を見ていた幸せを伝えたいのである。

三中は、私の上級生のころには、すでに映画を見ることを早くも許してくれていた。そればかりではなく、私のすすめで「ステラ・ダラス」やドイツのウファ社の



長篇文化映画「美と力への道」などは、学校から全生徒総見で見た。イタリア歌劇団来日の時にはその一座から四名を招き講堂で彼らの歌も聞かせてくれた。

三中は、そういうものに非常に理解があった。これがとても私には幸せだった。

『泣いたり笑ったりしない人は、人を愛することが出来ない』という西洋の言葉がある。またシェークスピアの「オセロ」は「愛するすべを知らぬ男が、愛しすぎた男の悲劇」であった。少年少女時代に、それらを学ぶことこそが人生の基礎だ。実にこれは大切な。

神戸は私の心のふるさとである。そして新開地はまた私の人生の学びのふるさとだ。十歳ではなにもまだジャリジャよ……と思うのは大人の怠慢。最近私は「少年マガ

ジン」にこずつと毎週映画の頁を書きつづけているゆえか、少年少女からの多くの手紙が舞いこんできて「ザッツ・エンタテインメント」や「キッド」への感激ぶりは大変なものである。少年少女時代の感激は貴重である。逃してはまことに損だ。

話が変わるが、五月の初め私は京都の立命館大学の講堂で映画講演をしてきたのだが、そのとき初めて、この学校と隣り合せの寺に尾上松之助の墓があることを聞かされた。

尾上松之助は明治四十二年（一九〇九）から活動写真に登場した。ちょうど私の生れた年である。それから大正の終りまでこの通称「目玉の松ちゃん」（目を大きく

「グリッド」と、エリック・フォン・ストロハイム監督むいて見えを切る）は大正十五年の十月に五十一歳で亡くなるまでに、なんと一〇〇〇本以上の映画（サイレント）に出た。私は新開地の錦座で、幼年時代からずーっといったい何十本この目玉の松ちゃんの活動写真を見たことか。そして私はこの尾上松之助の映画によって歌舞伎のはやしかた（げざ）の鳴りものの勉強をも自然としていたのであった。そのころの時代劇（旧劇）は歌舞伎そのままに画面の中の人物（俳優）も見えを切った。歌舞伎の見えを切るときあの目を大きく見ひらくのを、松之助がいつも演ることで（目玉）の名がついたわけである。しかし、これで私は少年時代に早くも、少しの違和感も感じなく、歌舞伎にも馴染めたのであった。

女体百景

《35》

H・ジュニア

え・浅野俊一

カラカラ浴場の ソフィアローレン

ローマのスペイン広場の前の通りを横切つてオアシス道路に入れば、そこは世界に名だたるブチックが軒を並べるコンドッティ通り。レオナード、グッチ、エルメスフエンディ、ソグニ、ルンチ……と数えあげたらきりがない。ゲーテの通つたというカフェグレコのカプティノも最高だ。

H・ジュニア氏は、革コートを求めて、とある店へ入ったとたん、美しいマダムのとりにこになり、その甘言に乗せられて、頭の中から足の先まで変身するほど買わされてしまった。ビュティフル、ベリーナイスとおだてられ、妻君にお土産のハンドバッグまで買わされ、クレジットカードにサインして、やれやれと、これまた買わされた大きなボストンさげて、タクシー乗場へ急いだが、後からさっきのブチックのママが追いかけて来る。

「何処に泊っているの？」と尋ねている。四つ星ホテルの名刺をさし出すと、「荷物が多くて気の毒だから、お送りする」という。パリやローマのブチックのママさんというのは、お高くとまり、つんとすました中年の、口八丁、手八丁、その上、頭の中から足の先まで、寸分

すきのないオシャレと虚飾のカタマリといった美女が通り相場。しかし、ここまで親身になられては、H・ジュニア氏も男の端くれ、抱いて見たくなつて来た。特に彼女は、イタリー人らしく、皮ふは色浅黒く、ナメシ皮小柄で少々骨バリ、なかなか魅力的な体をしている。「これからお昼休みだから都合がいい」という彼女も、その辺はお察しの御様子。

遂に二人は、クーラーのよくきいた、ホテルの特別室で昼下りの情事とシヤレ込んだ。

しかし、彼女の言い分がふるっている。

「前の穴は、主人にとってあるの。後の穴を使つてちょうだい」

H・ジュニア氏もすでにヨーロッパへ来て大分たつ。バック攻めには、相当慣らされている。

「OK」とばかり、それでも、相当頑張らねば入らない。彼女の括約筋は強力だ。

「彼女の体は、ニワトリで言えば、スジ肉か？」

しかし、エクスタシーに達する時の彼女のしかめづらは、さすがシブい。さすが、年季が入っている。

「これ見てちょうだい」と、彼女は、血のついたティッシュペーパーを、H・ジュニア氏に見せた。

「彼女は少し切れ痔の気があるのかな？」

「オー、あなた、処女！」

と、H・ジュニア氏が冗談を飛ばすと「イエース、イエース、ベリーナイス」と、彼女は大喜びに喜んだ。

「イタリヤの女優で誰知つてる？」

「ソフィアローレン！」

「OK、今夜、エスコートの相手に若い女の子世話したげる」

と来たもんだ。

「今夜は、カラカラ浴場跡へ、アイーダを聞きに行くんだけど」

「一緒に連れて行つてやりなさい。あなた、朝買ったトータルファッション着て行けば最高。彼女喜ぶ。こ



れ忘れてたけど、あなたの買ったポストンのキー。アリヴェデルチノ！」

「アリヴェデルチノ！」

念のためポストンにキーをかけ、全身トータルファッションに身を固めたH・ジュニア氏は、夕食後、ロビーで女の来るのを待った。

ブチツクのママの言う通り、若い彼女は、何と、ソファアローレンそっくりの、足の長い美女ではないか？

白っぽいマキシドレスの上から、真夏というのに、ミンクのコートをかけている。並ぶと、肩から上が、H・ジュニア氏の頭の先より出ているという感じ。しかしヨーロッパでは、こんな取り合わせのカップルは、ごく普通だ。H・ジュニア氏こそは、イタリア中年男の基本型なのだ。背が低く、頭が禿げ上り、お腹が出ていることは、ヨーロッパでは金持の象徴。H・ジュニア氏も卑下するに当らない。

胸を殊更張って、彼は、彼女と並んでカラカラ浴場跡の仮設スタンドに腰を下したのである。

二つの巨大な岩山がとりでのようにそそり立つ遺跡の

間に舞台がしつらえられ、その前にオーケストラボックスができていて、客席との間を仕切っている。スタンドの周囲は、古代さながらのうつそうたる大樹の影が黒々と取り囲んでいる。その上に、三日月まで出ているではないか？ 始まった大コーラスは、遺跡の下に寝る古代人が、地の底から発するうめき声の如く、ひびき始めるのだ。美しいソロの歌声も、マイクなしで充分顧客の心にまで滲透し、一幕終れば、相手と口笛と声援の嵐が起るのである。歌手達は幕の前に顔を紅潮させて居並び、精一杯の笑顔を作って腰を折り、投げキッスをして拍手に応えている。

真夜中に終るオペラは、よほど、イタリア娘の血を湧きたたせるらしい。カラカラ浴場のソフィアローレンが生れたままの姿で、H・ジュニア氏を、ホテルのベッドに迎え入れた時、彼女の官能はすでに燃えていた。

「早く、コンドームして！」

H・ジュニア氏は、鍵をわざわざかけた、あのポストンバッグを開けようとした。その中にコンドームがしまっているのだ。しかし、あわてれば、あわてるほど、鍵は穴にスッポリうまく入らない。不思議だ。無理にこじると、ゴキッと音がしてこわれてしまった。

「早く早く！」

遂にH・ジュニア氏は、錠を引きちぎった。

部屋一杯、汗ばんだ熱気に満ちた彼女の腋臭がただよう中で、H・ジュニア氏は、木の幹のように立派な彼女の両ももに下半身をはさまれながら、上半身は、彼女の腕にがっしり抱かれ、彼女のわきの下に顔をうずめて悶死したのである。

「ポストンの鍵、間違えてごめんなさい。彼女、素晴しかったでしょう？」

と、翌朝、ブチツクのママが電話で言ってきた。

錠前のこわれたポストンを見る度に、今も、H・ジュニア氏は、カラカラ浴場のソフィアローレンを想い出す。

ぴっと・いん



★あなたのブランコでゆうらりゆうらりと

4月21日、中山手のダイワナイトプラザ二階に「ブランコ」がオープンした。

ママのとも子さんは「ムーンライト」の卒業生。

「うちの店は色気はないんですが、静かにお酒が飲めて、お客さま同士が気楽に語り合える、そんな場所にしたいいんですよ」とハリキリママは快活におっしゃる。ムーンライトのおなじみさんの関係



ママのとも子さん

でおいさまが多いだろうと思つていたら、意外と若い人たちが多い。三宮から少し離れているので、お年寄りには息切れがするのでしょうか、ホホ……これは冗談。三宮とは目と鼻の先、

老いも若きも共に「ブランコ」でゆうらりゆうらりと初夏の一宵を楽しみませんか。

ポトル／カティールサーク 九千円、オールド、G&G各七千円、水割／カティールサーク 六千円、オールドG&G各五百円、軽食あり 5・30PM 10・30AM 年中無休 神戸市生田区中山手通一丁目24の7ダイワナイトプラザ2F 電話二二・二〇〇〇

★ブルース、今、神戸に！

五月三十日、神戸にブルース旋風が到着！ブルースR&Bファン待望の店「Bang」がオープン。

京都までブルースを聴きに行ったなんて話は今や昔語り。神戸でブルースを聴きたいなあ……という受身の姿勢から、神戸でブルースを聴くべきだ！と積極姿勢をみせた神戸生まれでオーディオファンの24歳の若者が遂にブルース喫茶開店に踏み切ったのだ。

四百枚を上回るブルースとR&Bのレコードがジャズクリと楽しめるオーディオルーム「diango」。

十分満足して貰える自信満々。

毎週月、水、金曜日にはライブセッションもやる。

ブルースファンのあなた、さあ、今すぐ「diango」へ。

コーヒー二五〇円、アルコール類各種、11・00AM 10・30PM 貴合区御幸通六の一の一五ミキビル地階（ビック劇場南） 電話二五・二二七二

★アットホームな店B—ブロックがオープン

細い階段を降りる地下の店—B BLOCK。レ



今夜も若者たちがいっぱい

ンガ造りのシックな感じがいい。お酒と音楽、そして軽やかに会話がとびかう。きどった店の中でアットホームな店づくりがマスターの望み。気の合った仲間が集まるスペース—B BLOCK。

そして、夜、八時三十分から零時までの間に四回、あのチャペリーの歌が聴かれるのだ！

ビーフンチャー（サラダ付）八百円、ハンバーグ六百円、コーヒー、紅茶各二五〇円、ポトル（OLD）五百円、水割（OLD）五百円、フィズ五百円、ビール四百円 11・00AM 1・00AM 神戸市生田区中山手通一丁目28モンシャトリコートブリックビルB1 電話二二・一九五九

●神戸うまいもん とドリンキング

コーヒー&アンティック

トアロード店 電話三九・一一五八 九 阪急六甲店 電話八四・二二二 九三九

トアロードにはセンスのある店が軒を並べていますが「ん」というお店をご存知ですか。さかい・しんじさんというここにこった方の店「コーヒー&アンティック」。

その「ん」がこのほど支店を出しました。場所は阪急六甲駅山側、姫路



“ん”トアロード店

信用金庫の前。トアロード店よりはこじんまりとしていますが、豪華な雰囲気はそのままです。

コーヒー、ジュース、アイスクリーム、そして、逸品揃いのアンティークとステキな音楽。

六甲界わいの住人の間で、今、静かなブームを「ん」が呼んでいます。

ご結婚おめでとうございます



10名様前後のパーティーに

特製かぶと焼をご利用下さい

かぶと焼き	マトン・ポーク・チキン
えび・いか・サーモン	各 ¥ 600
ビーフ・ミックス	各 ¥ 800
水割(OLD)、アクアビット	各 ¥ 450
スモークサーモン	¥ 1,300
ビット・イ・パンナ	¥ 1,000
(スウェーデン風ボテいため)	
スモーク・シュトブラル	¥ 1,000
(スウェーデン風肉だんご)	



RESTAURANT & BAR

GOKSTAD

6:00P.M. ~ 2:00A.M. 水曜日休み
神戸市生田区山本通3の18 谷口ビル1F ☎ 242・0131

フレッシュな味。

神戸生れの 六甲牧場



HANA

★喫茶店・洋菓子店に！
牛乳
生クリーム
ケーキ用クリーム
コーヒール用クリーム
各種アイスクリーム
ソフトミックス
★ご家庭に！
ヨーグルト
プリン・ジュース
フレッシュ牛乳

株式会社
六甲牧場

〒657 神戸市灘区篠原南町6丁目1-25
電話 神戸 (078) 801-6 0 0 0 (代表)

★ご用命したい営業マンが直にお伺いします。



蟹料理の店

かに料理の店



ばさら
妻女羅

神戸・三宮阪急西口北側レインボープラザ
☎(078)321-6363

熟練の調理士が
新鮮な材料をぜいたくに使い
新しさを加味し盛りつけます。

但馬水軍船料理

但馬料理

山海の滋味ゆたかに季節を
盛りあげます。

◆1・2階



神戸百貨会 だより



★マベ真珠の輝きをノ

新しい感覚で真珠や宝石の美しさを追求している田崎真珠が、このほど人工採取の技術開発に成功した半円マベ真珠の新たな流通経路を確立するため、この五月、**神戸マベパール**を設立しました。

奄美大島に漁場を開設して10年、公害のない美しい海から生まれたマベ真珠は、ピンク系のきれいな色をした良質のもので、その格調高い光沢と色調は、宝石愛好家から絶賛を博している。価格も手頃な値段から高額なものまでいろいろ細工が楽しめる。



田崎俊作社長

株式会社田崎マベパール

取締役社長 田崎俊作
取締役営業部長 小山 毅
取締役加工部長 浜口義彦
監査役 竹内恒造
顧問 一の瀬吉郎

神戸市港區鶴甲町3丁目12-41
田崎真珠六甲台工場内
TEL882-2150

★生まれかわる三宮

センタープラザビル完成
三宮センター街さんブラザ西隣に建築中のセンタープラザ（地下2階、地上19階）は地下1階から地上3階までの店舗部分のみ7月26日オープンの予定で、いま最後の仕上げにかかっています。

この高層ビルは、三宮市街地改造事業の一環として、昭和45年春にオープンした第1号ビルさんプラザに続いて出現するもので、全館の完成は、今年中にという予定。数年後に完成する第3号ビルとあわせて三宮はここ数年で姿を一新するようです。

このセンタープラザには婦人服飾のベニヤ、オートクチュールの装苑、紳士シヤツ、ネクタイの和屋シヤツ、アクセサリーの芸夢フランス菓子のベル、おもちゃのカメヤなどが入る予定。

ベニヤさんのお話ではセンタープラザの1階にサンローランなどの舶来高級ブランド、国産高級ブランドを中心にハイセンスな店づくりを進めているとか。インテリアもシャープでシンプルなものにして新しい三宮のイメージづくりに一役買おうと、新しい店づくりに皆さん頑張っているそうです★アップルハウス・スギヤ、ぐつと明るくなりました

心斎橋バルコ3階にあるスギヤ（本店トアロード）が4月18日ぐつと明るく改装オープン。ヤングを対象にしたこのスギヤはその名もアップルハウス。お店のメンバーも店長以下全員若々しくジーンズコーナーありニュートラありと神戸っ子ならぬ浪花っ子の人気を呼んでいます。



心斎橋バルコのスギヤ

「この夏はカラフルな装いが流行りそうだ」といってお話です。

●ショップトビックス

★世界の一流品を集めたトアロードクロスにヴァリーの夏秋もの新作が豊富に揃いました。婦人靴、紳士靴あわせて約六〇〇足。靴の命ともいうべき履き心地の良さは定評ある世界の銘品ヴァリーを日本人向けに特別に発注した靴の数々。一度のぞいてみて下さい。

★宝石のミキモト神戸店と大阪店が5月19日から24日までヨーロッパ・ジュエリーエキシビジョンが開かれ、個性的な海外作家の作品が数多く展示されました。

★大阪梅田の阪神百貨店4Fの婦人服フロアにセリザワが5月8日店を開きました。阪急三番街、虹の街店に続く3店目で、神戸セン

スを売る店と評判です。
★5月17、18日の神戸まつりはサーキット展の騒ぎなどもありましたが、今年もたいへんなにぎわいのうちに幕を閉じました。フアッションショーやフリーマーケットや神戸学院大学商業学院のユカイン人たちの高橋や、ファミリアからおまつり参加賞として、スヌービーのシヤツが10着贈られました。スヌービーくんがロンボーンを吹かしている赤いシヤツで、アタッた人は大喜びでした。

★子供の日はさんだ5月3日から6日まで、元町3丁目の本高砂屋でかしわ餅、まきぎを売りながらの景気よい宣伝販売。湯気をたてての景気よかったです。餅一ヶ60円也。いかにもおいしそう。飛ぶような売れどでした。



鯉のぼりをたてた本高砂屋

ポケットジャーナル



★センタープラザOPEN

いよいよ7月26日

神戸市の三宮総合都市計画によるCブロック「センタープラザ」(サンプラザ西側)が、地下(食道街)1F(従来のセンター街の専門店を含む)2F(京町筋の専門店を含む)3Fフロアで、新しい加盟店もふくみ、一五〇店の専門店が七月上旬にオープンする。



完成まじかなセンタープラザの全景

高層階のビルは年末の十二月につづいてオープン。仮設店舗で長らく営業を続けたこのブロックも、新しい装いでお目見得だ。

センタープラザの井川一馬専務は「トータルファッションがきく、モデルケースの新しいショッピングになるように」と店舗ぞろえ

に懸命だ。

高層ビルは、結婚の総合施設を含むビルになる予定。

★幻の本「龍の裔」 赤尾兜子肉筆句集

このほど、限定18部という墨書の句集が湯川書房(摂津市正雀本町)から出版された。前衛俳句の赤尾兜子さん(神戸市東灘区御影町上ノ山一六九〇ノ一四「渦」主宰)が、代表作30句を選んだ肉筆書。赤尾さんは、播州竜野の出身なので、その題名を「龍の裔」と名づけたもの。

この湯川書房は、五年に一度肉筆書美術造本に命を賭けるところで、越前紙(25cm×40cm)の2頁に一句を手描きした句集で、表紙は印度シルクに薄茶色の皮が使われ、帙(ちづ)入り、半年がかりで書きあげたものを、一年半を費して凝りに凝って作りあげた。ちなみに定価は12万円。と

ころが出版と同時に売切れというので、ファンにとっては「幻の本」となっている。代表句の「音楽漂う岸 侵してゆく蛇の飢」「広場に裂けた木塩のまわりに塩軋み」などが書かれている。



赤尾兜子さん

また赤尾さんは、この1年身体の不調もあり、やっと最近快復。この6月29日には最新句集「歳華集」が角川書店から発刊され、生田神社会館で「出版記念会」が企画されているが、その場内に「龍の裔」も飾られる予定で、二冊の作品完成は赤尾さんの壮年期の円熟ぶりが伺えると期待されている。

★神戸文化ホールに

ロイヤルボックス席誕生 神戸文化ホールでは、毎月一回以上各分野にわたって、独自の自主公演を行なっているが、この程、甲子園球場等にあるような年間予約ロイヤルボックス席制度を設けた。これはAⅡ伝統芸能部門、BⅡクラシック部門、CⅡ同ホールでの全公演の三コースに分けられ、会員になればそのコースの全公演が自分の希望す

誕生日
ありがとう
運動



第三回市民の福祉講座

福祉教育の一環として例年開催している講座を、今年は長田区丸山地区で開きます。コミュニティづくりで全国的に注目されている丸山地区と、地区内にある障害者施設との交流を、現地でじかに学習しましょう。

テーマ 障害者と共に歩むコミュニティづくり

日時 七月二十六日(土)

七月二十七日(日)

場所 丸山コミュニティセンター

定員 二百五十名(先着順)

聴講料 千五百円(中・高生千円)

日程

二十六日(土)

第一講座「障害児の生きがいをもとめて」信楽青年学長池田太郎

第二講座映画「ふれあい」「丸山学園」と北須磨保育センターの交流

第三講座「コミュニティと施設」

たいまつ新聞主幹のたけし

丸山施設夏まつり 講座第一回終了後、施設と地域社会の交流、盆おどりや模擬店など

第二十七日(日)

第四講座 施設見学と交流

第五講座 パネル「障害児と共に歩むコミュニティづくり」

司会 丸山学園長 日下知久

第六講座「統合と分離」北須磨保育センター所長 守屋光雄

申込手続①氏名②住所③職業④希望の有無を記入の上⑤聴講料と宿泊予約金を現金書留で運動本部へ、折返し聴講券と会場案内などを送ります。

誕生日ありがとう運動本部

神戸市IFF会館御幸通八十一一六

神戸国際会館一階(郵便局の前)

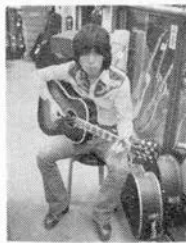
電話二五一八六一一六(内線三一六)

る席で自由に見られるとい
うもの。

会費・A、Bコースが個
人一万円、法人五万円、C
コースが三万円。どのコー
スも普通の入場券よりも二
割安くなっている。

問合せ・神戸市生町4-28 神戸文
化ホール事業課 ☎351-3533

★元町に二つの音楽教室
「ロッキーマン」「ヤマハ」
ロッキーマン元町本通
りを西へ歩いていくと、右
手に大きなギターのマーク
のカンバンが目にとまる。



立木賢(フォーク)

階段をトントンと上がると
ギター、マンドリン、パ
ンジョーなどが、所狭しと
並んでいる。マーチン、ギ
ブソン、ギルド等のギター
は一度、弦を鳴らした事の
ある人なら、誰もが欲しく
なるものだ。とにかく、音
楽を楽しみたいと思ってい
る人は、一度、ロッキーマ
ンをのぞいてみると良い。
店の人なら誰でも、親切に
音楽教室の案内をしてくれ
る。

入会金:二〇〇〇円
月謝三五〇〇円
課目 ブルーグラス全般

(日)・クラシックギター
(月)(火)(土)・パンジョ
ー、フラットマンドリン
(木)・フォークギター(金)
ヤマハ音楽教室「音楽教
育の重要さを十分に知った
うえで音楽教室を開いてい
る。」「従来のように、バイ
エルから押しつけがまし
く教育しても効果がない。」と
元町ヤマハの中島さんは、
おっしゃる。聴く感覚が急
速に伸びる幼児期に適確な
レッスンをしておくのが音
楽教育の重要なポイントと
なるそうだ。

対象・満4才からの子
供、指導期間・2ヶ年、レッ
スン回数・年間44レッスン
★「新谷瑛紀彫刻展」が
一周年を迎えた
ぎやるりー神戸で。

躍動感のある女性美を表
現して具象彫刻に益々深い
味をだす新谷瑛紀さんの、
久々の地元神戸での個展が
五月四日〜十七日までぎや
るりー神戸で開かれた。
このぎやるりー神戸は、
新谷瑛紀展が開廊一周年記
念展にあたり、それだけに



豊かな生命感あふれる裸婦像
が並ぶ会場

澤邊社長と、新谷さんの力
のいれようもひとしおで、
ローマ時代の未発表作品に
新作を加えた彫刻21点、素
描20点と力作が会場をうめ
た。

グレコやマンズーに学ん
だ新谷さんの、具象の中で
のギリギリの動きを表現す
る新しい感覚とさわやかな
生命感がノビた裸婦の手や
足にみなぎる作品群が、会
場を訪れた人たちを魅了し
た。

★朝比奈千足さん

ご結婚おめでとう!

クラリネット奏者であり
大阪フィルの指揮者として
活躍中の朝比奈千足さん
(31)が、ピアニストの木
村加代さん(25)と、4月
25日大阪ホテルプラザで結
婚式をあげた。



千足・加代さんお幸せに!

仲介は小幡謙三夫妻。音
楽家らしい披露パーティで
大フィルのメンバーにする
クラシック演奏の中でなご
やかな雰囲気。

出席者には、音楽関係の
人々も多かったが、大阪の
財界人も多く、伊部住友銀

美術 ガイド



★兵庫県立近代美術館

ドミエ展 5/17〜6/15

特別展 兵庫の美術抽象家の4人 6/21〜7/02

★南宮美術館 6/5〜6/29

浮絵と長崎版 6/5〜6/29

★ギャラリー神戸 6/1〜6/7

第2回小松益喜素画展・街と田舎 6/1〜6/7

★香雪美術館 3/12〜6/15

仏教美術と茶道具展 3/12〜6/15

★大丸百貨店美術画廊 5/29〜6/10

三夏会日本画展 5/29〜6/10

片野元彦教授展 6/12〜6/24

第3回日紅会日本画展 6/12〜6/24

鈴木輝政洋画展 6/12〜6/24

カガミクリスタル作家展 6/26〜7/1

★大丸百貨店4階催し場 5/29〜6/3

東立社展 6/12〜6/17

ドイツ民主共和国陶磁器・ガラス 6/12〜6/17

フェニア展 6/26〜7/1

★ギャラリーさんちか 6/26〜7/1

神戸市医師会写真展 6/12〜6/17

井上金蔵油絵展 6/12〜6/17

新書人連合会会員展 6/12〜6/17

第3回アトリエ青銅社展 6/26〜7/1

★さんちか広場 6/5〜6/10

六方釜和田石凍田と同人展 6/5〜6/10

新協美術神戸写真展 6/12〜6/17

住居と室内装飾家具展示 6/12〜6/17

中国物産展 6/19〜6/24

★KCCギャラリー 6/29〜7/1

舟山会南画展 6/5〜6/11

第5回丹波陶友会展 6/12〜6/18

タカハシノブオ黒い絵の個展 6/19〜6/25

甲南女子大学美術部4回生展 6/26〜7/2

行頭取、小寺ユニチカ社長
森阪急電鉄社長、鈴木ホテ
ルプラザ社長、原朝日放送
社長さんらに、ゲーテ協会
のエルマー・ブランドさん、
元西独総領事のガリン
スキーさんなど多彩な顔ぶ
れ。父君の隆先生もこの日
ばかりは町子夫人と美しい
花嫁さんにニコニコ。

★自然の恩恵を味わう山菜
ヨメナやセリの菜飯(な
めし)、ワラビやゼンマイ
今の季節ならイタドリ(の
煮。山野の幸をしゅんをの



山田幸男さん

花時計



「神戸まつり」の周辺

第5回目の神戸まつりが
終わった。例年よりも盛
大に華やかに、フラワー
ロード一帯も、湊川の会
場も、須磨の離宮公園も
人で埋った。

そして、クイン神戸が
決まり、プリンス神戸

がさず、自然の姿と味を生
かして調理し食卓に盛って
喜ばれる山菜料理。その業
取と料理の方法を絵と図解
をまじえて親切に解説した
「山菜入門」が出版された
著者は神戸で山菜料理の
店「六段」を経営する山田
幸男さん(33才)。山菜の
野性味を愛する人は多く、
山で摘んだ野草が、この本
に習えば季節感漂う立派な
一皿になるんだからうれし
い。

山菜入門 保育社カラーボックス 333
一五二ページ三八〇円

★きもの再発見

神戸国際会館きもの着つ
け学院(河崎聖学院長)が
開松五周年を記念して四月
二十三日発表会を国際会館
5Fホールで行った。



発表会で、中央が河崎学院長

基本着つけ発表、十二単
衣と束帯の着つけ、講師指
導員の方々の作品発表、高
林三朗氏の「明日へのきも
の」の講演、フィナーレの
結婚式とよりだくさんのプ
ログラム。中でも十二単衣
の着つけは、さながら王朝
絵を見るようで、会場をう
づめた人もうっとり、ため
いき。着ものの良さを見直
させてくれた。

もニコヤカに愛嬌をふり
まいた。いわゆる好事魔
多し、とでもいうのか、
またまた、5月17日、18
日の両日の夜、サーキッ
ト族の深夜の暴走劇がく
り展げられ、取締る警察
をなやませた。

残念なことである。

この暴走族の取締りを
強化するために、18日の
祭りは終了時刻を二時間
もくり上げなければなら
なくった会場もあったた
くれば、このサーキッ
ト族はほとんどが他地域
の車だという。

いや、大変なお客さん
もあったものである。
神戸まつりを進める側
でも大変だと思ふ、とん
だトバッチリだ。しかし
このサーキット族騒ぎを
放っておくことは出来な
い。

その外にも、神戸まつ
りをめぐっていろいろな
問題が表面化してきてい
る。それだけ規模が大き
くなってきたのだ。

だから、その規模にふ
さわしい、きめの細かい
周到な準備が必要になっ
てきているのだ。△Y△

KOBE POST

★造形作家で神戸大学助教授の齊藤智さんがジャパン・アートフェスティバルでグランプリ賞を受賞されました。受賞作品は6月13日から上野の森美術館で展示されます。おめでとうございます。

★洋楽の朝北奈子さんが、4月25日、ビートルズの木村加代さんとホテルプラザで、結婚。スイートホームは、干渉神戸市東灘区岡本七丁目二一八/三〇一

★那覇の松本尚時さんと岡本久美子さんが、能楽師の久田秀雄さんと六月十七日生田神社会館で結婚式をあげられます。これからの二人の活躍が楽しみです。

★住友信託銀行神戸支店長の酒井智介さんは、四月下旬より大阪本店の取締役審査部長に転任され、後任に、桜井修さんが赴任されました。

★英文毎日の森浩二さんが、三年半の東京勤務から帰神。5月1日より神戸マネジャーとして活躍されています。自宅は干渉神戸市東灘区岡本八丁目10ノ1岡本ハウス502 ☎〇七八(四五二)八〇七六

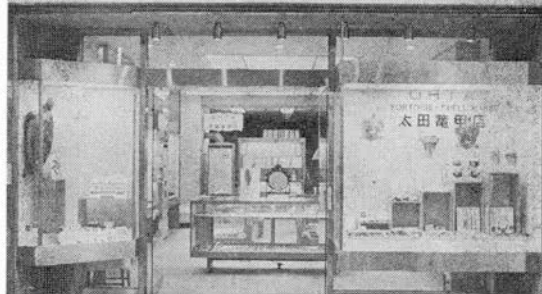
★医師の羽根田豊、美世子さんと夫妻が、新築移転のお知らせ。医院は干渉西宮市南越木岩町二ノ二四 ☎〇七九(一)三三六七

二〇 自宅は干渉西宮市深谷町三ノ二〇 ☎〇七九(八)七一一三

五三九

★元町四丁目のインテルナタむら(代表取締役北村雄雄さん)が、二月十四日より東京の原宿、パレフランス五階に、原宿店パレ・ルブル(責任者、原宿泰美さん)にショールームをオープンしました。東京都渋谷区神宮前一ノ六ノ一 干渉 ☎〇三(三)四七八一五一一五

太田鼈甲店

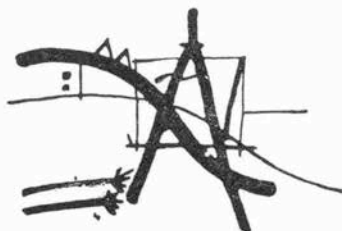


べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

額縁絵画・洋画材料 室内工芸品



額製積末

三宮・大丸北
トア・ロード
331-1309・6243

KOBE SHOPPING GUIDE

おすし
てんぷら



栄
彌



営業時間
A.M.11.30~P.M.9.00

本店 大丸前・三宮神社東

TEL(331)5772

(毎週水曜日休み)

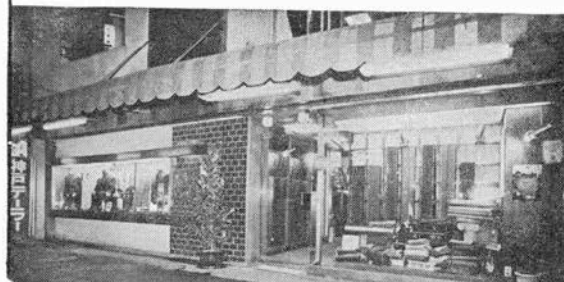
支店 さんちか味ののれん街

TEL(391)5233

(第3水曜日休み)

高級紳士服専門店

神戸テーラー



さんちかメンズタウン TEL(391)0388

生田区北長狭通2(阪急西口) TEL(331)2817・3173

やっぱりうまい
むさしのとんかつ



三惠洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

KOBE SHOPPING GUIDE

三宮センター店

3階 レストラン
2階 喫茶・パーラー
1階 洋菓子
アイスクリーム
地階 喫茶室

皆様そろってぜひご利用
下さいませ

北 欧 の 銘 菓



ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市葺合区熊内町1の8(市立美術館東隣) TEL 221-1164
■三宮センター街本店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL 331-2421



おもちゃの

水がうれしい夏！

ゴムボートなど
水遊びのおもちゃがいっぱい



三宮方面での お買物は	○二九一
三ツ橋方面で は、タウシ	四〇四
市街地改造のた めの仮店舗に於て営業中	
元町方面での お買物は	○二九九
元町通三丁目山側	七六八
元町通二丁目二家前	七六八
神戸駅前方面で のお買物は	六〇〇
神戶駅前地下街	六〇〇

